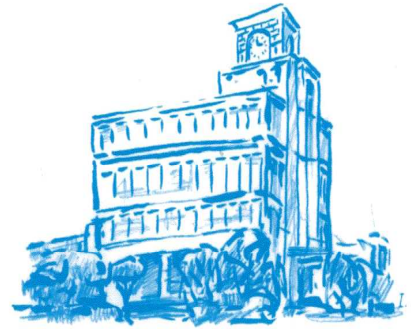


令和2年(2020年)4月号 (No.210)

今こそ 現状をとらえ 危機に立ち向かう

伊丹市立総合教育センター
所長 永嶺 香織

新型コロナウイルスが猛威をふるい、さらなる感染拡大に備えるための緊急事態宣言が発令され、日本中が大きな不安を抱えて令和2年度を迎えることとなりました。いつもなら友だちや先生との出会いに心を躍らせ、子どもたちが元気よく学校生活をスタートさせる4月。しかしながら、予想もできないような毎日となり、子どもたちはとまどいやストレスを感じているのではないのでしょうか。また、長期にわたる休業となり、ご家庭では、生活習慣に加え学習習慣の維持もさらに難しくなっていることも予想されます。ふだん当たり前だと思っていることが当たり前ではない、ということに改めて痛感しています。



ヘミングウェイという小説家をご存じですか。ノーベル文学賞を受賞した有名な人です。彼が書いた小説『老人と海』のなかで、彼はこのような言葉を記しています。「今はないものについて考える時ではない。今あるもので、なにができるかを考える時だ。」と。これは、たった一人、広い海の小さな舟の上でサメと闘う主人公が自分に言い聞かせる言葉です。逆境に立ち向かう時は、ないものについていくら考えても仕方がない。今あるもので、できることを必死で考えるしかないということです。

いま、私たちは予想もできないような事態に直面しています。計画どおりに物事を進めることもできなくなっています。しかし、その状況を嘆くのではなく、今こそできる限りの手段を検討し、子どもたち一人ひとりの状況を把握しながら、体調面や精神面、家庭学習等の学習面等においてきめ細やかな対応を続ける必要があります。そして、学校再開のために、保健管理や学習状況等、子どもたちの心身を守り、安心して安全な学校生活を確保するために、今できることはなにかを検討しなくてはならないでしょう。

とはいえ、これまで経験したことのないような事態、正解のない課題を前にしてその解決を図るために、私たちはまさに奔走させられていると言っても過言ではないと思います。しかし、これは、子どもたちにとっても同様ではないのでしょうか。自分の力だけではどうしようもできないような課題が突然現れ、答えのない課題に対して自分で答えを探し出し、立ち向かっていくことを求められています。

変化の激しい先行き不透明な社会、将来の変化を予測することが困難な社会、このような社会を生き抜くために必要な資質・能力を育むために学習指導要領が改訂され、小学校では今年度全面実施となります。この学習指導要領が改訂された背景を今まさに現実的に受け止めています。

総合教育センターは、今年度も時代に対応した教育活動を推進する先生方を支援するセンターとしてその役割を果たしていきたいと思っております。

新学習指導要領を踏まえ、伊丹市がめざす教育

なぜ！？
『学力の向上』
『ICT活用による学習の推進』

令和2年度(2020年度)がスタートしました。本年度も、総合教育センターは学校園の先生方にプラスとなる情報を発信していきたいと思っております。

今、日本ではこんな変化が起こっている！

☆人口減少 ☆高齢化 ☆グローバル化

☆AIやIoTなど科学技術の進展

穴埋めに挑戦してみよう！



<問題1>

10～20年後は、どのような社会になるでしょう？

- 子ども達の(①) %は、今存在しない職業に就く
- 今後10年～20年で、(②) %近い仕事が自動化される

- (③) 年、AIが人類を超える「シンギュラリティ」が到来する

※「シンギュラリティ」とは・・・人工知能(AI)が発達し、人間の知性を超えることによって、人間の生活に大きな変化が起こるという概念

<問題2>

このような時代に必要とされる資質とは？

- 変化の激しい社会に対応するためには、社会の変化に(①)ではなく、(②)に向き合い、他者と(③)しながら問題を解決していく力が求められる

- グローバル化社会を生き抜くためには、(④)偏重ではなく(⑤)を活用し、問題を解決する力、(⑥)を創造する力が必要である

このような時代を生き抜くために、
どのような子どもを育てなければならないか？

<問題3>

新学習指導要領における「育成すべき資質・能力」とは？

- (①)・(②)の習得
- (③)力・(④)力・(⑤)力等の育成
- (⑥)に向かう力・(⑦)等の涵養(かんよう)

日本の子ども達・伊丹市の子ども達の課題は・・・『読解力』

※2018. OECD国際調査結果(PISA調査)

大量の情報の中から、必要なものを選び出し、情報を疑ってみたり自分の考えを表現したりする力が不足。

1. 学力の向上

(1)授業改善

- ① 主体的・対話的で深い学びの実践
- ② 指導と評価の一体化
- ③ 教科書の丁寧な展開
- ④ 情報活用能力の育成

(2)誰一人取り残さない取組

- ① 習熟度別授業の実施
- ② 放課後学習等の実施

2. ICT活用による学習の推進

(1)新学習指導要領に基づいた授業のためのICTの活用

(2)ICT機器を使いこなすスキルの向上

(3)ICTを使った「思考力・判断力・表現力等」の育成

授業を確認するポイント

- 授業の内容は、**思考力・判断力・表現力を培うもの**となっているか
- 授業のねらいに即した「評価」**ができているか
- 教科書のねらい**から、授業が脱線していないか
- めあて(内容の見通し)・ふり返り(時間の見通し)**のある授業ができているか
- 単元を通して**一貫性を持った授業計画**を作成できているか
- 子どもの実態**に合わせた「**スモールステップ**」の授業となっているか
- 「ICT」を活用する等、**視覚的、聴覚的に工夫**をした授業であるか
- 過去の学習で**理解が不足している部分の補充学習**の時間の設定を行っているか



授業力向上(カリキュラム)支援センター

授業力向上(カリキュラム)支援センター(通称:カリセン)では、「コンサルティング機能」「ワーキングスペースの提供」「コンテンツの提供」の3つの機能を通して、教職員の自主的・主体的な研究活動の支援や、授業・保育にすぐ役立つような個別のニーズに応じたサポートを行っています。

コンサルティング機能でサポート!

- 経験豊富なコンサルタントが常駐し、教職員の様々な悩みに対応します。
- 授業づくりの支援を行います。

ワーキングスペースの提供でサポート!

- 5階の部屋を自由に使えます。様々な人数、用途に対応できるスペースを用意しています。
- グループ活動や情報交換の場としても使えます。
- ICT機器を活用して模擬授業ができます。

コンテンツの充実でサポート!

- 図書者・雑誌が充実。貸し出しもできます。
- パソコン・電子黒板・プロジェクターなど研修に必要な機器を貸し出します。
- プリンタ、コピー機なども使えます。
- 模造紙大まで印刷可能な大判カラープリンタ、一度に100枚までコピー可能なDVD複製機(CDも対応)があります。



アウトリーチ型支援でサポート!

- 経験豊かなコンサルタントが授業を観に行き、授業づくりや学級づくりについての指導・助言を行います。



山田 恵子
コンサルタント



後藤 猛虎
コンサルタント



大橋 雅代
指導員

解答: <問題1>①65% ②47% ③2045

<問題2>①受け身 ②主体的 ③協働 ④知識 ⑤知識 ⑥新しい価値

<問題3>①知識 ②技能 ③思考 ④判断 ⑤表現 ⑥学び ⑦人間性

発行 伊丹市立総合教育センター

所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番 TEL 072-780-2480 FAX 072-780-2482

開館日 月・火・木・金 : 9:00~21:00 水・土 : 9:00~17:00

休館日 日曜・祝日、年末・年始 総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>